

# 復興・団地景観 フォト&スケッチ展開催

## ～入賞作品結果発表～

UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）では、「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015」及び「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2015」を開催し、全国から多数のご応募を頂きました。この度、入賞作品を選出し、作品展を開催しますのでお知らせいたします。（詳細は別紙）



復興 フォト大賞



復興 スケッチ大賞



団地景観 フォト大賞



団地景観 スケッチ大賞

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 震災復興支援室 企画チーム（復興担当）

（電話）045-650-0871

本社 技術・コスト管理部 都市再生設計チーム（団地景観担当）

（電話）045-650-0679

本社 広報室 報道担当

（電話）03-5323-2756

## 1 入賞作品数

(復興) 復興の歩み大賞 2 作品、復興の歩み賞 5 作品、入賞 15 作品

(団地) 大賞 2 作品、優秀賞 6 作品、入賞 15 作品

## 2 作品展の開催予定

### ①「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015」

及び「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2015」

平成 28 年 1 月 30 日 (土) 東京メトロ三越前駅 地下コンコース

～2 月 14 日 (日) (東京都中央区日本橋室町 1-3 国道 4 号地下歩道)

### ②「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015」

平成 28 年 3 月 8 日 (火) コラッセふくしま 1 階アトリウム

～3 月 12 日 (土) (福島県福島市三河南町 1-20)

平成 28 年 3 月 9 日 (水) アイーナいわて県民情報交流センター 4 階県民プラザ

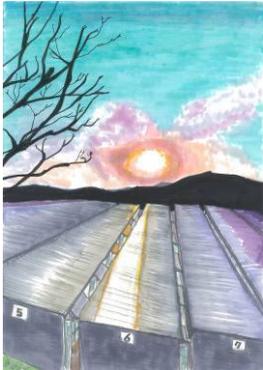
～3 月 14 日 (月) (岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1)

平成 28 年 3 月 10 日 (木) A E R 2 階アトリウム

～3 月 13 日 (日) (宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1)

また、上記 3 県の沿岸部の市町においても開催を予定しております。

「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015」概要

名称	東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015	
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）	
後援	国土交通省、復興庁	
テーマ	「復興の歩み ～想い、つなぐ、明日へ～」 新たな住まいでの生活や、なりわい再建の様子、まちづくりの現場、まちに戻りつつある活気、震災後も変わらない四季折々の風景など、皆さんが復興を感じる場面についての写真又はスケッチ。	
応募作品数	275 作品（プロの応募は不可）	
審査員	大西 みつぐ 写真家 千葉 学 建築家 なかだ えり イラストレーター 池邊 このみ ランドスケーププランナー（敬称略）	
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定	
賞	復興の歩み大賞（フォト）  「復興への戦い」 福島県いわき市	【審査員のコメント】 美しく広がる砂浜、その表層を筋状に舞う砂、青い空と流れる雲、そして遥か向こうに見えるクレーンやブルドーザ。一見静かな写真だが、まるでその場の音が聞こえてきそうな臨場感に溢れている。写真から伝わる自然の音、重機の音、そして人気がない砂浜が織り成す光景は、福島が抱える問題の複雑さを浮き彫りにしつつも、復興に取り組む人々のひたむきさを感じさせてくれる。（千葉審査員）
	復興の歩み大賞（スケッチ）  「静かな夕暮れとそこにある生活」 宮城県 本吉郡南三陸町	【審査員のコメント】 仮設住宅の諸問題は現地でも見聞きしたり、報道等でも知るところでしたが、新居が決まった作者が、その4年間の暮らしをも尊いと感謝し、新しい未来に向かっていく様子が伝わってきます。周辺をシルエットで描いたことで、人間に対し時に厳しく時に寄り添う自然との関係性も感じられます。（なかだ審査員）
	その他、復興の歩み賞（5点）、入賞（15点）を選定。	
スケジュール	平成27年5月20日～平成27年9月15日	作品募集期間
	平成27年12月25日	受賞作品発表
	平成28年1月30日～	作品展
ホームページ	<a href="http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2015/result/index.html">http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2015/result/index.html</a>	

「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2015」概要

名称	UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2015	
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）	
後援	国土交通省	
テーマ	「ふれあいの団地 ～暮らしの風景～」 団地でのいきいきとした活動や、そこに暮らす人の笑顔、親しんだ風景やお気に入りの建物、季節を感じさせてくれる樹木や草花などの写真又はスケッチ。	
応募作品数	503 作品（プロの応募は不可）	
審査員	大西 みつぐ 写真家 千葉 学 建築家 なかだ えり イラストレーター 池邊 このみ ランドスケーププランナー（敬称略）	
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定	
賞	<p>フォト大賞</p>  <p>「雪の日」 北海道</p>	<p>【審査員のコメント】</p> <p>「足音だけが通り過ぎていく、雪の降る街」。誰もがいつか歌ったあの世界が静かにここに息づいています。とても美しい色彩で表現されました。左端の街灯が入ったことで奥行き感も強調され、中央の部屋の灯りも加わり、私たちの暮らしの中での安堵感を盛り上げています。細かな雪もまさに幻想的。落ち着いた描写力です。（大西審査員）</p>
	<p>スケッチ大賞</p>  <p>「みどりがいっぱい」 京都府</p>	<p>【審査員のコメント】</p> <p>UR団地の緑溢れる空間の居心地の良さが、スケッチと文章から伝わって来る作品です。お子さんの手をひくお母さんや、ベランダの風景が心和むもので、暖かい団地の雰囲気が伝わってきます。スケッチの技術もピカイチ、素晴らしい作品です。（池邊審査員）</p>
	その他、優秀賞（6点）、入賞（15点）を選定	
スケジュール	平成 27 年 5 月 20 日～平成 27 年 9 月 15 日	作品募集期間
	平成 27 年 12 月 25 日	受賞作品発表
	平成 28 年 1 月 30 日～	作品展
ホームページ	<a href="http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/sumit/contest2015/result/index.html">http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/sumit/contest2015/result/index.html</a>	

※応募資格、審査員、選定方法、スケジュールは「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2015」と同様